



チャレンジ! 一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.46
令和5年 1月30日
文責:校長 酒井 健

◇子どもたちの頑張りが・・・今、「なわとび記録会」が開催されています。

先週から、今週にかけて、学年ごとに「なわとび記録会」が開催されています。寒波到来の中、寒い体育館ではありますが、子どもたち一人一人の頑張りが輝いています。なわとび運動は、マラソンと一緒に、チームで行う種目ではなく、自分一人での運動です。ということは、自分自身との戦いということですね。子どもたちは、「もっと跳べるようにがんばろう」「苦しいけど頑張ろう」と自分と戦っています。先週は、6年生、1年生、2年生が行いました。今週は、3年生、4年生、5年生が行います。ぜひ、一人一人の記録が伸びますように祈っています。

保護者の皆様におかれましては、寒い中、体育館において、子どもたちへの声援を送っていただきありがとうございます。また、1・2年生では、ボランティアで回数確認のご協力をいただいたことに感謝申し上げます。



◇「明るいまちづくり推進運動 標語・川柳コンクール」の入選作品です！

令和4年度の「明るいまちづくり推進運動 標語・川柳コンクール」で、大槻小学校の3名の作品が入選しました。一つ一つの言葉に想いが込められていますね。素晴らしい作品です。

【佳 作】

- 「え顔はね 心つながる ひょうしょうじょう」 (4年 本田 絢音さん)
- 「リサイクル いらないものが いるものへ」 (5年 山内 結菜さん)
- 「あいさつすると ぼかぼかするよ 大槻町」 (5年 佐藤 奏太さん)



校長のひとりごと



先週、間もなく卒業を迎える6年生の皆さんに学級ごとにお話をする機会をいただきました。話の最後に、子どもたちに伝えたことは、「旅立ちの日に」という曲がどのように生まれてきたのかという話です。「旅立ちの日に」は、卒業式で、6年生が歌う曲です。卒業式の式歌の定番といってもいい有名な曲です。「揚げば尊し」「巣立ちの歌」「贈る言葉」などをおさえて、全国で最も広く歌われる卒業式の歌であります。

今から31年前頃のこと、埼玉県のある中学校でのお話です。その頃、その中学校は、とても荒れていて毎日が大変だったそうです。そこで、当時の校長先生が、「歌声の響く学校」にすることを目指し、合唱をする機会を増やしていきました。最初は抵抗していた生徒たちが、皆で歌う楽しさに気付いていき、次第に学校は明るくなっていきました。校長先生は、その年、「歌声の響く学校」の集大成として、何か記念に残る曲を・・・と考え、歌詞を書き上げました。そして、音楽の先生に作曲をお願いしたのです。そしてできあがった曲は、「卒業生を送る会」で全教職員の合唱で生徒たちにサプライズプレゼントをしました。その曲の歌詞の内容とステキな旋律に感動し、涙する生徒たちがたくさんいました。この曲は、まわりの学校、そして全国へと広がっていきました。それが、この曲「旅立ちの日に」です。3月23日、卒業式で子どもたちが歌います。「・・・いま、別れるとき 飛び立とう未来信じて・・・」

